

・春休み

2月の中旬から4月の中旬まで、約2か月の春休みがありました。多くの学生は帰省してしまうため、大学や寮は閑散としていました。私はこの春休み期間に、色々な場所に旅行したいと考えており、すぐに計画を立てはじめました。

・モロッコ旅行

まず、自分の誕生日である3月3日をモロッコの青い街、シャフシャウエンで過ごすことを決めました。モロッコにした理由は、前々からアフリカ大陸の国に行ってみたいという気持ちがあったのと、ドイツから比較的行きやすい場所にあったからです。

そして3月1日の夜の8時頃にモロッコに到着し、空港で一晩明かそうとしていると、トルコ人の方と出会いました。そこで話していると、彼は、「一番悪い時期にモロッコに来たね!」と言い出しました。そのわけを尋ねると、どうやら3月1日から約30日間は、ラマダンの期間らしいのです。ラマダンとは、イスラム教の断食をする期間であり、この30日間は日が出ている間、一切の飲み食いが禁じられます。肉体的な自己克服と精神的な浄化が目的とされています。「レストランも全然開いていないぜ!じゃあな!」そういうと彼は颯爽とトルコへ帰って行きました。最初は自分の無知・無計画さを恨んでいましたが、逆にレアな体験ができると考え、旅行を続行しました。

電車とバスを乗り継ぎ、なんとかシャフシャウエンに到着しました。ここは山中にある小さな街で、街の建物の多くが青く染められていることで有名です。青く染めるようになった理由は諸説ありますが、かつてここに住み着いたユダヤ人が、ユダヤ教で神聖な色である青色に建物を染めたという説が有力のようです。



(写真：青の街「シャフシャウエン」の風景)

現地の人達と交流し、現地の方が集うカフェで街のことを色々教えてもらいました。ここは観光業で栄えており、その観光客のほとんどがスペイン人で、仲良くなった現地の方は、英語が苦手です。スペイン語が流暢な人が多かったです。また、嬉しいことにシャウエンは完全な観光地なので、日中でも多くのレストランが開いていました。そこでクスクスと呼ばれる粒状のパスタと、専用の鍋で作るタジン鍋をいただきました。クスクスは好みの味ではありませんでしたが、タジン鍋はかなりおいしく、この旅行中に合計3回いただきました。

その他にも現地の川の水を飲んでみたり、カフェでサッカー観戦をしたり、猫に料理を食べられたりと、5日間のこの旅行は、書ききれないほど濃い内容の経験の連続でした。現地の方は皆優しく、色々なことを教えてもらいました。また、イスラム教への理解が、自分の中で進んだように感じます。そんな感傷に浸り、郷ひろみの「哀愁のカサブランカ」を聴きながらモロッコを旅立ちました。



(左：クスクス 中央：タジン鍋 右：川の水を汲んでもらっている様子)

・ 東欧旅行

4月の頭に、東欧諸国に旅行に行きました。この旅行では、ルーマニア、モルドバ、ポーランド等を巡りました。あまりメジャーではない場所に訪れたいという考えで東欧を旅行したのですが、こちらは物価が比較的安く、観光客が格段多いわけではないので、現地の風を感じることができました。しかし逆にメジャーな場所にまだ行けていないので、訪れたいと思います。



(左：ルーマニアの議事堂宮殿 中央：モロッコの市場 右：ポーランドのコペルニクス像)

この3月と4月は、旅行のおかげでとても濃い2か月間となりました。留学も残り約3か月となりました。他にも訪れたい場所はたくさんありますが、授業が始まったこともあり、行動できる範囲や期間はとても限られてしまっています。それでも日本に帰るまであと数カ国訪れたいと考えています。